



青葉 1月

「夢を描く」 ～令和5年のはじまりに添えて～

校長 藤原 明美

新しい年が始まりました。皆様はどのような新年を迎えられましたでしょうか。

私たちの横浜は、初日の出が美しい穏やかなお正月でしたが、大雪が積もる中で新年を迎えた地域もあり、改めて、平和で安全な日々が過ごせるようにと思いを馳せました。

夢や希望、新たな目標をもって、新しい年を迎えた子どもたちも多いと思います。6年生は総合学習「人生の先輩から学ぼう」(キャリア教育)で、保護者様にご協力いただき、医師、製造業、建築設計、外航船員機関士のお仕事についてお話をしていただきました。また関係機関に働きかけ、報道のアナウンサー、伝統芸能を守る狂言師の方にもお話をききました。興味深い具体的な仕事内容と、その仕事に就いた経緯、そしてその仕事を通して培ったことなどについて、体験を通して子どもたちは学んでいました。職業は様々違っても、世の中の役に立ちたい、自分の良さを生かしたい、仲間と共に創り上げたいなど、共通する思いがあり、またその道は一本道ではなく、迷いながら、常に道を創り続けていることも感じました。お話の全てを、ここにとても書き尽くせませんが、6年生にとって、小学校卒業を前に、将来の夢や、「働くとは、何か」ということを具体的に考える大きな契機になったのではないのでしょうか。

青葉台小学校では、保護者や地域の皆様にゲストティーチャーという形で授業に参画していただくことが数多くあります。まさに「人と地域が教科書」、本当に幸せなことです。本物に触れる体験を通して、子どもたちの将来の夢へとつながっていくように感じます。

生活科で、1年生は「まちたんけん」をし、2年生は青葉台の街のお店や施設の方にインタビューをしました。3年生は社会科で、お店の様々な工夫について具体的に学びました。総合学習でも、4年生は地域の郵便局とつながり、壮大な「ハニービープロジェクト」に取り組んでいます。5年生は地域の「あおば小麦プロジェクト」について詳しく調べています。青葉台の地域の小麦を使って、栄養士の先生と調理員さんに給食の特別メニューを作っていただき、全校で味わうことができました。

また、年末には、3年ぶりに桜台公園で焼き芋大会が開かれました。このような社会情勢の中でも、子どもたちの楽しい思い出になればと、地域の皆様とPTAの皆様が力を合わせて開催してくださいました。おいしい焼き芋を食べながら、子どもたちは地域の温かさに触れたことと思います。

教育は、学校だけでは完結しません。青葉台小では、数多くの保護者・地域の皆様にご協力をいただきながら、「本物」に触れる体験的な学習活動を通して、社会に開かれた教育活動を進めています。令和5年の念頭にあたり、改めて本校の教育活動へのご理解ご協力に感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。